

事業紹介

協働まちづくり・総務グループ事業紹介

協働まちづくり・総務グループでは、「集う」をテーマに皆で取組む魅力あるまちづくりのお手伝いをしています。その一部を紹介します。

(1) 千代田まちづくりサポートの実施

自主的なまちづくり活動を行っているグループに対して、その活動経費の一部を助成しています。助成にあたっては公開審査会等での審査があります。

- 部門：はじめて・一般・普請・テーマの4部門
- 助成額：はじめて部門5万円・一般部門5～50万円
普請部門最大500万円・テーマ部門最大50万円
- 詳細：右記二次元コードをご確認ください。



(2) 区の花さくら再生基金の管理

さくらに関する普及啓発活動を実施しているNPOやボランティア団体などに対して、その活動費を助成します。

- 助成額：さくら管理者が行う事業250万円
さくらサポーターが行う事業200万円
(1サポーター50万円が限度)
- 実施時期：4月～6月

(3) 事業報告・交流会の実施

まちみらい千代田を支援する賛助会員をはじめ、区民や区内企業等に対して、事業実施報告を行ないます。また、交流の場を設け、参加者同士の意見交換や交流を図ります。

- 実施時期：1月(予定)

(4) まちみらい千代田ウェブサイトの運用

まちみらい千代田の実施事業周知のための有効なツールとして、ウェブサイトを運用します。また、各種SNS(Twitter、Facebook)を活用し情報を発信していきます。

- 詳細：右記二次元コードをご確認ください。



■問 合 せ 協働まちづくり・総務グループ
☎3233-7556 ✉info@mm-chiyoda.or.jp



開催報告

第22回千代田まちづくりサポート 公開審査会

千代田まちづくりサポートは、千代田を活気ある住み良い魅力的なまちにしようと市民レベルでがんばっているまちづくり活動やこれから始めようとするまちづくり活動を応援しています。

7月30日(土)、本審査会の会場(ちよだプラットフォームスクウェア5階)では2年ぶりにリアルで公開審査会を開催しました。

今回は10グループから応募があり、9グループの活動に対して助成を決定しました。

一般部門

活動企画内容の発表(4グループ)

はじめて部門

活動企画内容の紹介(5グループ)

※はじめて部門は、書類審査で助成可否を決定しました
※一般部門は、発表後の追加質疑・審査を経て、下表のグループが助成対象に選ばれました

■問 合 せ 協働まちづくり・総務グループ
☎3233-7556

●「第22回千代田まちづくりサポート」助成対象9グループ

通番	部門	申請回数(回)	グループ名	助成額(万円)
1	一般	2	番町っこ倶楽部	49
2		1	あるまっぴーCHIYODA	49
3		1	千代田プロレス&スポーツカルチャー推進委員会	48
4		1	神田藍の会	50
5	はじめて	—	tea plant club	5
6		—	COFFEE & ACOUSTIC CHIYODA	5
7		—	No Borders ちよだ	5
8		—	not ぼっち	5
9		—	まちづくり・地域政策研究会	5

助成決定にあたりまして、審査会長および、今年度より新しく委員に就任した後藤副会長、三友委員からのコメントを紹介します。

奥村会長

今回もさすが千代田区だなという柔軟な発想での活動発表がありました。何かの機会がありましたら、現場で一緒にまちづくりを話し合っ、一緒に楽しんだり悩んだりするような機会を共有して、身近な審査を続けていきたいと思います。

後藤副会長

まちづくりは活動を考えてから、それを実際に行動に移すということが非常に大変なので、まずは一步踏み出してチャレンジしてほしいと思っています。活動内容については、地域資源に光を当て、地域の魅力を新しく作っていくという活動でとても素晴らしい内容だと感じました。

三友委員

これからどんどん活動の輪を広げていくことを期待しています。また、こういった活動にはマネジメントや運営疲れ等々あるかと思いますが、ぜひ楽しんで活動を続けてほしいと思います。



イベント



都心の千代田区で“地方の逸品”に出会える場所 「ちよだグルメショップ+ A」

9月マンスリーフェア〈9/1(木)～9/30(金)〉

北海道鹿部町

鹿部町は北海道渡島総合振興局中部にあり、茅部郡に属する人口3,900人ほどの町です。

町名の由来はアイヌ語の「シケルペ(キハダのあるところ)」から来ているそうです。

※キハダはアイヌが薬や染料として使っていた植物

主産業は漁業で、町内に3つの漁港を持っており、通年でたこやかれい、ホッケが水揚げされるほか、昆布やサクラマスなどの漁も盛んです。

特に冬場に水揚げされるスケソウダラを原料とした「たらこ」は絶品で、当店でのフェアでも大人気です。

また、鹿部町の昆布を使った「根昆布だし」は鹿部町道の駅「しかべ間歇泉公園」では年間1万本売れるという大ヒット商品です。

ほかにも良質な地元産昆布を使った「とろろ昆布」など、さまざまな昆布加工品、豊かな海産物加工品にご期待ください。



募集

ハイブリッド
開催

第1回

マンション管理講座 開催

第1回マンション管理講座は「被災マンションの復興の手続き」をテーマに開催します。参加には事前の申し込みが必要です。

- 日 時 9月7日(水)
18時30分から20時30分(予定)
※対面とオンライン(Zoom)を併用して開催します。
ただし、状況により開催方法を変更する場合があります。
- 会 場 ちよだプラットフォームスクウェア5階
会議室(千代田区神田錦町3-21)
- 受講料 無料
- 講師 おおき ゆうご 大木 祐悟氏
(NPO法人都市住宅とまちづくり研究会 理事)
- 対 象 千代田区内マンションの居住者、所有者、管理組合役員
- 定 員 対面20名・オンライン30名(先着順)
- 申込み まちみらい千代田ウェブサイト(右記二次元コード)をご確認ください。
- 問 合 せ 住宅まちづくりグループ ☎3233-3223



コラム

マンション

よもやま話

マンションの防災設備見学

マンションには、屋内消火栓や防災倉庫、非常用発電機など、さまざまな防災設備があります。しかし、どんな設備があるか知らない方や、知っていても実際に見たことがない方も多いのではないでしょうか。

そこで、マンションの防災設備見学を行ってみるのはいかがでしょう。総会や理事会の開催後など、人の集まりやすい時間に、マンションの各種防災設備を見学することで、マンション防災に関心を持ってもらうことがねらいです。管理会社や設備の保守会社に協力してもらうことで、比較的簡単に実施することができます。

また、平成30年度の千代田区分譲マンション実態調査では、防災訓練(消防訓練を含む)を実施しているマンションは約25%にとどまっており、そもそも実施していないマンションが多いのが実態です。しかし、発災後にマンションの住民同士で助け合うためには、年に1回程度の防災訓練は必須です。



ごはんが進む

イベント

「ご当地メシ友」フェア

9/1(木)～9/30(金)

猛暑の夏を過ごし、そろそろ夏バテを感じるような時期になる9月。食欲が増すような各地域のご当地メシ友をご紹介します。

例えば、「伝説のかつおふりかけ」(西伊豆町)、や「おおなんの宝 石見和牛」(邑南町)など、炊き立てのご飯にぴったりのものや、「きびなご缶」(天草市)や「鹿肉のしぐれ煮缶」(屋久島町)など、アウトドアに持っていくのにもぴったりの「ご当地めし友缶詰」も予定しています。

ご当地めし友でごはんをおいしく食べて、元気を取り戻しましょう！

どうぞお楽しみに♪

おおなんの宝石見牛ごはんと納豆のせ



鹿肉しぐれ煮



伝説のかつおふりかけ



- 問 合 せ ちよだグルメショップ+ A
☎ 5577-3846 (午前中の電話対応はできません)
千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア1階

募集

オンライン
講座

千代田ビジネス起業塾 〈一般起業家編〉受講生募集！

「独立したい」「経営の基本を学びたい」「定年を機に起業したい」方を対象に、起業の基礎が学べる起業塾をオンラインで開催します。

これまで会社員・主婦の方や学生、シニアの方など幅広い方が受講されています。カリキュラムは起業に必要なマーケティングや財務など基本を学び、事業計画書を作成し、起業を具体化する際に役立てていただきます。
※オンライン開催のため、託児サービスの利用はできません。



- 募集開始 9月5日(月)9時～
- 日 時 10月20日～12月22日 毎週木曜(全9回)
18時45分～20時55分
- 会 場 インターネット回線を通じたオンライン形式(Zoomを利用)
- 定 員 20名(定員になり次第、締切)
- 受講料 区民・学生5千円 一般1万円
- 申込み まちみらい千代田ウェブサイト(右記二次元コード)をご確認ください。
- 問 合 せ 産業まちづくりグループ ☎3233-7558

